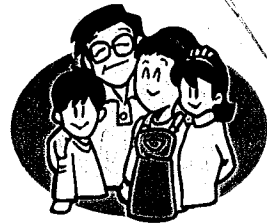


橋本 真由美 (三宮セアザ)

私は韓国語も英語も出来無い状態で、それこそ“犬と赤ちゃんと共に”の語彙だけを
持ってホームステイに来た。勿論海外でホームステイをするのも初めてで、何れと不安は
ありたかった。ホームステイ経験者の方々のアドバイスを受けて今のありの自分の自分で、その子
飛び込んで行けばいいのだ...と準備期間中にばかりそう思えるようになって。心の準備が整
った状態で日本を出発することが出来た。そのせいもあってか、滞在中は自分でも驚く程、心
を置いて飛び込んで行くことが出来、沢山の気づきがあった。その中でも一番感じているのは
“会話”というの。言葉を介在させれば心も伝えているという事です。ホストは私の
日本語、韓国語、英語の単語をつなぎ合わせてつた会話と一生懸命耳を傾け
て下さり、セブスターや物の指差しでその全てを目を凝らして見て下さり、その姿が
何よりも暖かく、優しく、私は言葉に返ったように自由に伸び伸びと表現出来る気が
しました。プレゼンターに行きだそうけがの会話でもとても心地良かったことが不思議でした。
きっとそれは当然の前の方に言葉を繋ぎ、通して当然の日常で忘れている“言葉に
心を繋いで...”ということを感じたのだと思います。
頭で理解していても、自分の心にはまだ届いていなかったけれど、ホームステイを
通して心と心に染み込んでいく気がしました。
テキストを読んだこと、ホームステイの体験を通して自分の中に取り込めたこと、この
素晴らしい経験は、これからの自分を大きく変えてくれると思います。



2013年 GW・NPO法人 多言語広場CELULAS



第9回 セルラス韓国ホームステイ交流 感想文

名前: 榎林 巧将

ピアザ: 三宮

2013年5月1日~5月5日

★ホームステイ中の様子、ホストファミリーのこと、印象的なエピソードなど、今回の交流の感想をホームステイを終えたばかりの今のすなおな気持ちで書いてください。ウラにも書いてOKです!

ホームステイで一番印象に残ったことは、スティーブンとサッカーをしたこと、プランコがとてつもなくゆれたこと、王様のしろに行ったことなどたくさんあります。1日目、初めてスティーブンと会った時友だちになれるかときどきしました。でも日本の遊び方を教えると友だちになりました。2日目ダビッドの家に遊びに行きました。アッパといっしょにあそぶたのでうれしかったです。3日目はぼくたちとダビッドといっしょに王様のしろに行きました。すごくおおきくてびっくりしました。それがあわて野球をアッパとチェイドとスティーブンとぼくでしました。すごくボールをとばしたのでうれしかったです。さいごにごはんを食べて帰りました。ごはんはチョンマルアジツアをいただきました。すごくみんなやさしくしてくれたし、いっしょに遊んでくれたのでとてもうれしくてたのしいホームステイでした。